JREU JR東労組千葉地本
２０１９年１月３０日 №７７
ＪＲ東労組千葉地方本部
発行者：下村悟史
編集者：情宣担当
ホームページ http://www.jreu-chiba.jp/

地本-支社間

『電気部門の変革2022』について『提案』を受ける！ その①

地本は千葉支社より、『電気部門の変革2022』についての「提案」を受けました。本施策では、電力・信号の銚子メセ・館山メセの統廃合およびＴＥＭＳへの業務移管が実施されるほか、通信部門の科の再編、スマートメンテナンス導入や仕事の仕組みの見直しによる標準数見直しなど、2022年度までの多岐にわたる施策が提案されています。地本は、社員数の急速な減少等の環境変化に踏まえつつ、パートナー会社を含む電気部門で働く全ての仲間の安全・健康・技術力・働きがい向上に資する施策を創るため、今後、団体交渉を行います！

『電気部門の変革2022』について　提案（要旨）

電気部門は、『変革2027』で掲げたビジョンを具現化するため、最新技術導入を積極的に行い「設備のシステムチェンジ」「スマートメンテナンス」「工事の機械化・効率化」を3本柱として、メンテナンス業務等を変革していく。更に、安全の確保をベースに、これらの３本柱等により、「技術的な判断業務に注力」する働き方を実現する。

３本柱を推進しつつ、生産性の高い業務執行体制を目指し、「パートナー会社と連携し効率的にメンテナンスする組織」を構築し、業務のスリム化等を合わせて実施することで、電気部門のメンテナンス体制を変革していく。

◆実施事項

(1)電気部門の在来線の効率的なメンテナンスの実施

①保全実施計画や検査等メンテナンス業務をパートナー会社へ移管（移管先会社：ＴＥＭＳ）
②移管拡大等により銚子メセ・館山メセを統廃合

(2)スマートメンテナンス導入等による業務のスリム化

①モニタリング導入等に伴う、従来の検査（至近距離検査、外観検査等）や取替周期の最適化
②電車線モニタリングによるメンテナンス業務の見直し
　転てつ機モニタリング、ボンドモニタリング等による検査業務の見直し

(3)技術センターにおける業務の簡素化

①小規模・少額工事の適用拡大、一般工事の単金化、統合作業乗率の集約等を実施
　支社発注工事の信号試験における信号技術者認定制度の適用範囲拡大
②工事制度見直しによる効率的な積算、契約の実施による業務の見直し
③通信系統のグループを、情報通信工事科と情報通信保全科へ再編（現行は有線・無線で区分）
④電力系統のグループのうち、変電設計１・2科の統合、システム科の見直し（増員）を実施

(4)異常時対応

異常時には職責を超え、パートナー会社とも連携し、一致協力して対応する。

◆実施日

①銚子･館山メセ統廃合、ＴＥＭＳへ移管　…平成31年4月1日
②上記以外　…平成31年4月1日以降、順次メニュー実施

◆その他　社員への必要な教育は実施する。

その②へ続く